

## 協調学習の進め方

協調学習は、共通の課題をもった仲間との関わり合いを通して、自分の考えの質を高めるための学習の在り方であり、知識構成型ジグソー法は、協調学習を行いやすくする一つの手法である。協調学習を行い、児童生徒が「話し合うことで、学びが深まる」ことを実感できることが重要である。

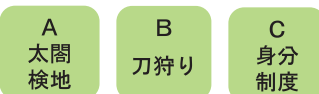
### 授業設計

【例：社会科 三人の武将】

〈授業のまとめ〉

秀吉は、平和で安定した社会をつくりたかった。

授業のねらいを達成するためのエキスパート活動の構想



〈課題の設定〉

豊臣秀吉は、どのような社会をつくりたかったのか考えよう。

### 活動1 課題に対するはじめの考えを書く

〈課題〉

豊臣秀吉は、どのような社会をつくりたかったのか考えよう。



課題に対する最初の自分の考えを書く。

### 活動2 エキスパート活動

A A A 太閤検地の目的は何だろうか

刀狩りに込められた思いとは何か B B B

C C C 身分制度にはどんな目的があるか

エキスパート活動の課題は、単なる知識の意味理解ではなく、なぜだろう？調べてみたい！と思える課題を設定する。

### 活動3 ジグソー活動

秀吉は、太閤検地を行うことで…

刀狩りは…

身分制度によって…

A B C

各エキスパートグループから集まった新しいグループをつくる。

A・B・Cの資料について発表し合うだけでなく、課題に立ち戻り、グループとしての考えを深める時間にする。

### 活動4 クロストーク活動

秀吉がつくりたかった社会は…

A B C

私たちのグループの考え方と似てるね

A B C

A B C

【全体での意見交換を通して個に】

全体での各グループの考えの交流を通して、一人一人の考えを深める。

### 活動5 学習の最後に課題に対する考えを書く



秀吉は、平和で安定した社会をつくりたかったんだ

最後は一人で、学習を振り返り、課題に対する考えをまとめる。

学習のはじめに書いた自分の考えと比べ、考えが深まっていることに気付くことができるようにする。

## 【協調学習のポイント！】

#### Point 1：課題の工夫

課題は、児童生徒が、なぜだろう？考えてみたい！というものにする。また、既習事項と新たな知識との関連により、見方・考え方が深まるものにする。

#### Point 2：エキスパート活動の課題の工夫

エキスパート活動については、資料から新たな知識を知るというだけでなく、課題を工夫し、一人一人が「人に伝えたい」と思える活動にする。

#### Point 3：児童生徒の変容をとらえる工夫

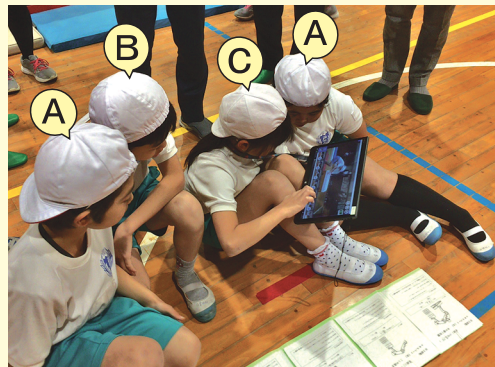
児童生徒の変容を捉えるための評価を行う。上記の活動1と活動5で書いた児童生徒の答えを比較し、考え方の深まりの様子を確認できるようにする。

#### Point 4：協調学習のポイントをつかんだら(発展)

対話を通じて理解を深める協調学習のポイントをつかんだら、エキスパート活動のテーマを児童生徒から引き出したリ、活動2～4を柔軟に行ったりすることも考えられる。

## ★きりりワンポイント★ タブレットを活用して

～4年生 跳び箱運動から～



ジグソー活動で、技のポイントを教え、深め合う様子  
A(手を着く位置) B(踏切) C(空中姿勢)

〈参考1〉「東京大学 CoREF 知識構成型ジグソー法  
(<http://coref.u-tokyo.ac.jp/>)」

〈参考2〉「埼玉教育連載「協調学習」  
([http://www.center.spec.ed.jp/?page\\_id=564](http://www.center.spec.ed.jp/?page_id=564))」